

防災ひろば・あれこれ

プレーパーク 8月22日スタート

豊島区では、区内ではじめてのプレーパークを防災ひろばに開設します。

プレーパークとは別名「冒険遊び場」と呼ばれているものです。一般の公園のような禁止事項がなく、子供たちが自己責任のもとで自由に遊べる空間をさしています。プレーパークの開設時には、子供たちを見守るプレーリーダーがついていますが、どんな遊びをするかは子供たち次第。昔のはらっぱを想像していただければお判りになるでしょうか。

これまで、公募による区民ワークショップが、そのあり方や場所を検討してきましたが、2回の体験プレー



パーク開催を経て、8月22日から本格的にスタートすることになりました。場所は防災ひろばの高い方の敷地です。プレーパークには年齢制限はありません。どなたでも参加できます。お問い合わせの上、おいでください。プレーパークの開催日と時間は次のとおりです。

●開催日 水・金曜日 14:00～17:00
土・日・祝祭日 10:00～17:00

なお、8月22日10時から開所式が行われます。お問い合わせの上おいでください。

お問い合わせは

豊島区子ども課地域担当係

電話 3981-2049 (直通)



ひろばの草刈り

防災まちづくりの会とひろばの会では、ひろばの維持管理のために、年3回程度、清掃や草刈りなどを行うことにしました。今年度の最初の活動は清掃と草刈りです。

平年よりも13日も遅い梅雨明けの日、8月2日に、まちづくりの会、ひろばの会、プレーパークの運営委員、近隣の方々、池二小の校長先生など、20名の方々にご参加いただき行いました。

草刈りとは言っても、もともと住宅だったので前の居住者が植えた花や、ふだん目にすることが少なくなった野草もあります。このような草花を、雑草としていっせいに刈ってしまうのは心苦しいことです。まず全員でひろばを廻り、残す野草を決めました。その上で、フェンス際の見通しが悪いところを中心に草刈りを行いました。たくさんの野草が残され、そこにいる虫たちも安心していらした。



2

今年も盛大に

5月18日に行われた防災まちづくり祭は、いい天気に恵まれ、大盛況でした。

今年で7回目を迎える防災まちづくり祭ですが、今年は例年と少し様子が違うところがありました。まずは末広太鼓の演奏によって、にぎやかなお祭りとなりました。末広太鼓に参加したのは、各町会からの10名の子どもたち。日頃の練習の成果を発揮していただきました。

恒例の会主催のカレーフイスの販売がなくなりまして。代わりに登場したのが、有志の方の天然酵母パンのサンドイッチ。いつもと違う味覚に、用意していたパンがすべて売り切れとなりました。

また、新しい池袋本町の名物になりつつある鯉のぼりは今年で2年目。新たに12匹を加え、ますます華やかになりました。

すっかり恒例となった防災ポスターコンクールは、次の方々が池袋本町防災まちづくりの会・本町防災ひろばの会長賞を受賞されました。



池二小 小川由季さん



文成小 本間たまえさん

今年も豊作をめざして

池二小では、今年もひろばで田んぼ作りに挑戦しています。昨年は天候にも恵まれ10kgものお米を収穫できました。今年も昨年以上に、子どもたちも張り切っています。

今年はさらに土を入れて、田んぼの縁に見えていた防水シートが見えないようにしました。春先から苗代づく

池二小で田植え

りをして、5年生38人が田植えを行いました。初めての田んぼの感触に、はじめは恐る恐る入っていた子どもたちも、慣れてくるにしたがって手つきも良くなりました。中には田植えそっこのけで泥遊びに興じる子どもも。

今年植えた苗は、山形県遊佐町の「はえぬき」です。秋の収穫が楽しみです。



3